

# 1

## お使いになる前に

特長.....	20
セットの確認.....	22
各部の名称.....	23
電話機.....	23
液晶ディスプレイの見方 (ソフトキー、アイコン).....	24
準備.....	28
電池パックをセットする・ 交換する.....	28
電池パックの寿命.....	30
電池の使用時間の目安.....	31
電話機/電池パックを充電する.....	32
電源を入れる.....	35
電池残量を確認する.....	36
自局番号を確認する.....	37
発信時に自局番号を通知する.....	39
時計を設定する.....	41

# 特長

お使いになる前に

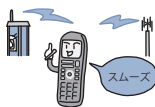
## 事業所コードレスシステムモード

事業所コードレスシステム機器に接続すれば携帯型の内線電話機としてお使い頂けます。会社内で持ち歩けば、内線通話や外線通話がいつでもどこでもつながります。なかなか自分の席に戻れない人に最適です。(→P49)



## 移動中でも途切れにくい

移動時などは条件のよいアンテナを通話中に検索することによって、アンテナ切替えの時間が短くなりました。  
※ 電波状態によっては通話が途切れる場合があります。



## 漢字対応

電話帳に登録する名前を漢字やひらがなで作成できます。



## 最大300件の電話帳

最大300件の電話帳を登録できます。また、1人につき、5箇所までの電話番号を登録できます。(→P84)



## スケジュール機能で時間管理

スケジュールを登録。もちろん、予定時刻にアラームを鳴らすこともできるので、時間管理にも威力を発揮します。(→P122)



## 「混み合っています」表示

発信時に近くのアンテナの回線がすべて使用中でつながらないとき、「混み合っています」と表示します。意味も無くつながらないというイライラがありません。  
※ 事業所コードレスシステムでご利用の場合のみ表示します。



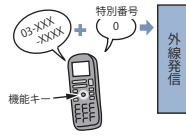
## PHSサービス

PHS(簡易型携帯電話)サービスに加入されると、本電話機を外に持ち出して利用することができます。  
※ 必ず PHS サービスへの加入が必要です。(→P44)



## 発信番号付加

発信する際、機能キーを押すことで、表示している電話番号の先頭に外線発信用の「0」などの特別番号を組み合わせることで発信することができます。(→P156)



1 基本操作編  
特長

### 接続先変更

屋内/公衆デュアルモードで発信する際、モードキーを押すことで、接続先のモードを簡単に変更することができます。(→P47)



### 同時に2つのモードの待ち受けが可能 (デュアルモード)

2つのモードで待ち受けことができ、どちらのモードでも電波が届いていれば受信可能です。この電話機1つで内線電話機としてもPHS(簡易型携帯電話)としてもお使い頂けます。(→P45)



### ソフトキー

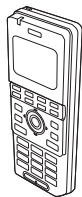
利用できるPBX機能などをソフトキーで表示。選択するだけで機能を実行する簡単操作です。(→P104)



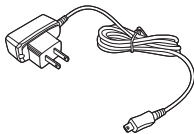
# セットの確認

お使いになる前に

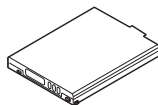
はじめに、セット内容を確認してください。  
セットに足りないものがあつた場合は、販売店等へご連絡ください。



電話機×1



ACアダプタ×1



電池パック×1

1  
基本  
操作編

セットの確認



# 各部の名称

## ◆ 電話機

### 前面

着信/充電ランプ(→P24)

#### 機能キー

上下左右を押すと機能メニューを選択します。  
左右を押すとソフトキーの項目を選択します。  
中央を押すと表示中の項目の確定や機能を実行します。

#### 選択ボタン

ソフトキーを選択するときに使います。

#### フレキシブルキー (Fキー)

任意に設定したダイヤル情報で発信するときに使います。

#### 保留/モードボタン

通話を保留にするときや、事業所コードレスシステムモードで転送をするときに使います。  
モード切り替えメニューをワンタッチで表示するときにも使います。

#### メモ/文字ボタン

通話録音やボイスメモを再生するときに使います。  
文字入力モードを切り替えるときにも使います。

#### 通話ボタン

電話をかけたり受けたりします。

#### 留守録/ドライブボタン

留守録/ドライブを有効にしたり、解除するときに使います。

受話口

液晶ディスプレイ(→P24)

#### ソフトキー切替ボタン

ソフトキーの表示を切り替えるときに使います。

#### 履歴/クリアボタン

リダイヤルや着信履歴の番号を表示します。ディスプレイの文字を消すときにも利用します。  
直前の画面に戻る時に使います。

#### 電話帳ボタン

電話帳を表示します。

#### 電源/切ボタン

電源の入/切や、電話を切るとき、操作を中止するときなどに使います。

#### ダイヤルボタン

電話番号をダイヤルしたり、文字を入力します。

#### マナーボタン

マナーモードを有効にしたり解除するときに使います。

送話口(マイク)



背面 / 側面 / 底面

アラーム口

着信音、警告音などの音が鳴ります。

ハンドストラップ取り付け穴

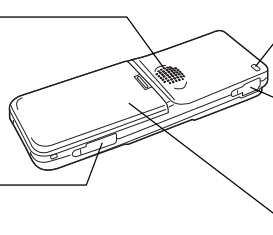
USB端子

ACアダプタやUSBケーブルを差し込んで利用します。

イヤホンマイク差込口

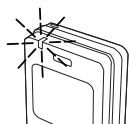
イヤホンマイク(別売)を差し込んで利用します。

電池カバー(→P28)



ランプ表示

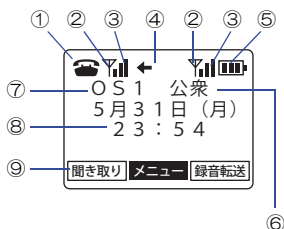
着信/充電ランプ



ランプ	ランプのつき方	電話機の状態
着信時	点滅(緑)	電話がかかってきたとき
充電時	点灯(赤)	充電中のとき
	点灯(赤→消灯)	充電がほぼ終了したとき
	点滅(赤)	電池や充電端子が異常のため、充電できないとき。通話しながら長時間充電したとき

◆ 液晶ディスプレイの見方(ソフトキー、アイコン)

～こんなときに表示されます～



①		切断中  または接続中
②	〒(圏内)	電波が届いている場所にいるとき(→P53)
③		受けている電波の強さ
④		発信時の優先接続先を指す(→P45)
⑤		電池残量(→P36)
⑥	公衆	公衆モードのとき(→P44)
⑦	OS1、TRSなど	事業所コードレスシステムモード、トランシーバモードのとき(→P44)
⑧	その他の表示部分	選択中の機能などの状態によりアイコンが表示される
⑨	ソフトキー	事業所コードレスシステムモードで利用できる機能が表示され選択できる

## ～ソフトキー～

OS(事業所コードレスシステムモード)で利用できる機能が表示されます。機能キーを上下左右に押して機能を選択します。

表示されるメニューは、登録しているPBXの機種や待受時/通話中などの条件によって異なります。

画面の一例

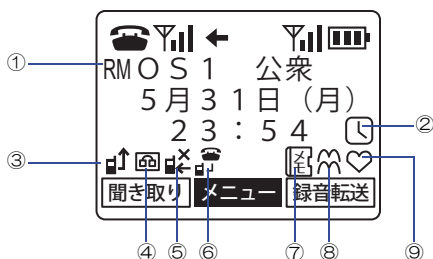


ソフトキー切替ボタンを押すと、次のメニューが表示されます。



メニュー	機能メニューの選択画面を呼び出す(→P27, 110)
聞き取り	VoiceMailを聞く
通話録音	通話録音をする
録音転送	すべての着信を通話録音装置へ転送する
不在転送	すべての着信を転送する
話中転送	通話中の着信を転送する
圏外転送	圏外または電源OFF時の着信を転送する
不応答転	一定時間不応答の着信を転送する
転先不在	離席時に移動先の電話機から転送設定ができる
キャンプ	呼び出し先が通話中のとき通話が終わり次第呼び出しがある
会議	通話中に他者を呼び出し三者通話を行う
着信拒否	着信を規制する
割込拒否	割込通話を規制する
割り込み	通話中の内線に接続する
ウェイト	相手通話中に割り込み音を送る
ピック	グループ内の他の番号への着信に応答する
シェア	PHSと多機能電話機が1つの電話番号を使用する
パーク	保留した通話に別の電話機から応答する
客室状態	客室状態を設定する
発信制限	発信を制限する
着信制限	着信を制限する
受話音量	受話音量を調節する(→P65)

～表示されるアイコンの意味～

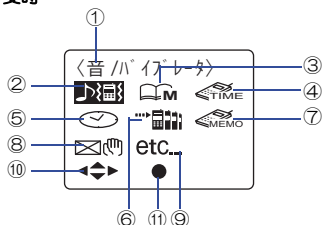


① RM	ローミング機能を利用している(→P108)
②	スケジュールを設定している(→P123)
③	OSで転送(不在転送、録音転送)を設定している
④	VoiceMailが届いている
⑤	OSで着信拒否を設定している
⑥	ワンナンバシェアリングを設定している
⑦	留守録/ドライブを設定している(→P129)
⑧	着信がバイブレータになっている(→P72)
S	着信がサイレントになっている(→P70)
⑨	「マナーモード」を設定している(→P71)

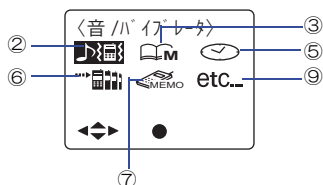
～機能メニュー～

ソフトキーの[メニュー]を選択すると、以下のメインメニューが表示されます。

待受時



通話時




ソフトキーが表示されていないときは、機能キーの中央を押すとメインメニューが表示されます。

① <xxx>	現在選択中のメニュー項目名
②	着信音や着信音量の設定(→P69)
③	電話帳の参照や登録(→P84)
④	通話時間の表示(→P120)
⑤	時計の設定やスケジュール(→P122)
⑥	着信/発信履歴の表示(→P62)
⑦	留守録・音声メモの録音・設定(→P129)
⑧	パスワードロックやキーロックの設定(→P154)
⑨ etc...	上記以外の機能(液晶の濃度や暗証番号など)の設定(→P112, 136)
⑩	▲で示された方向(上下左右)に選択肢があることを表わす(→P13)
⑪ ●	機能キーの中央を押して機能を選択できることを表わす(→P13)

# 準備

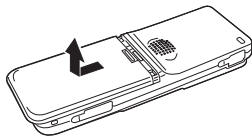
お使いになる前に

## ◆ 電池パックをセットする・交換する

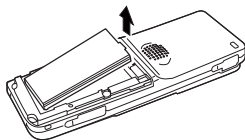
- 1 (交換時のみ)電源が入っているときは  ボタンを2秒以上押し、電源を切ります。



- 2 電池カバーを取り外します。  
電池カバーのくぼみを指で押し、カバーを取り外します。



- 3 (交換時のみ)電池パックを取り出します。

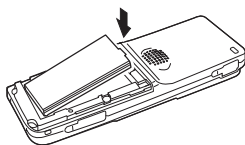


1  
基本  
操作編

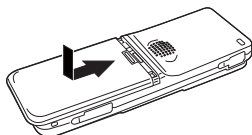
準備

## 4 電池パックを入れます。

接続コネクタの向きに注意してしっかり押し込みます。



## 5 電池カバーを取り付けます。



お願い

- 電池パックは、必ず電源を切ってからセットしてください。
  - 長時間ご使用にならない時は、充電してから電池パックを取り外して保管してください。
- ご使用にならない場合でも、3か月に1回は必ず充電してください。

## ◆ 電池パックの寿命

電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。

また、充電後もACアダプタや充電器に接続したままの場合、充電と放電を繰り返し、電池の消耗が早まります。電池の消耗に伴い電池パックが膨らむ場合がありますが、これはリチウムイオン電池の特性です。誤った使用をされない限り安全上に問題はありますが、電池は消耗しているため、早期に交換をしてください。

1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。(電池パックの寿命の目安は、約1年です。)



密閉型蓄電池のリサイクルにご協力ください。

Li-ion

## ◎ 電池不要時の処理方法

- (1) この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- (2) リチウムイオンはリサイクル可能な貴重な資源です。
- (3) 交換後不要になった電池、および使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、最寄の販売店窓口等にご持参頂くか、販売担当の者にお渡しください。



危険

### ● 電池パックについて

電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。

- ・ 本電話機専用の電池パックと充電器を使用してください。
- ・ 火の中に投入したり加熱しないでください。火のそばや、炎天下等の高温になる場所での使用、充電、放置は避けてください。
- ・ プラス(+)、マイナス(-)を逆にしたり、針金等の金属で接続しないでください。
- ・ また、金属製のネックレスやヘアピン等と、一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- ・ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたりしないでください。
- ・ ハンダ付けや分解、改造はしないでください。



## ◆ 電池の使用時間の目安

条件		使用可能時間
モード	連続	
事業所コードレスシステムモード	待受	約500時間
	通話	約6時間
公衆	待受	約500時間
	通話	約6時間
トランシーバモード	待受	約100時間
	通話	約6時間
屋内/公衆デュアルモード	待受	約340時間
	通話	約6時間

(電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。)

## ※ 連続通話時間

充電完了後、ずっと通話だけを行った場合に使用可能な時間の目安です。

## ※ 連続待受時間

充電完了後、一度も通話や操作をせずに、連続して待受状態を保つことが可能な時間の目安です。

- ・ 電波の届かない場所、電波の弱い場所での待受は電池の消耗が多いため、連続待受時間が短くなります。




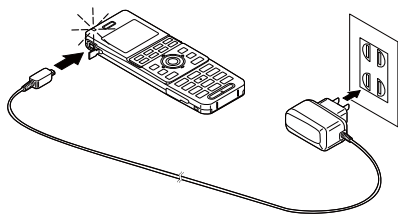
フンポイント

- 電池の使用可能時間は、電波が安定した状態で算出した弊社計算値です。電波の弱い場所での通話や電波の届かない場所での待ち受けは電池の消耗が多いため、表中の時間より短くなります。
- 充電のしかたや電池の劣化度、使用環境によって、表中の時間は変化します。
- 実際にご利用になれる時間は、待受時間と通話時間の組み合わせになりますので、着信があったり、通話時間や移動距離が長い場合は短くなります。

## ◆ 電話機 / 電池パックを充電する

### ACアダプタで直接充電する

- 1** ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と電話機に差し込みます。  
電話機が充電器に正しく設置されると、電話機の充電ランプが赤色に点灯し「」が点滅します。  
はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



充電時間の目安
約180分

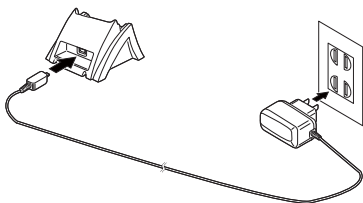
充電が完了すると充電ランプが消灯し、「」の点滅が止まります。

  
お願い


- 電池パックが空になった状態から長時間放電した後など、電池パックの残量がまったくない状態から充電する場合、充電を行っても充電ランプが点灯するまでに3分程度かかることがあります。
- 充電を開始してから30分経っても充電ランプが点灯しない場合は、電池パックを交換してください。

充電器で充電する

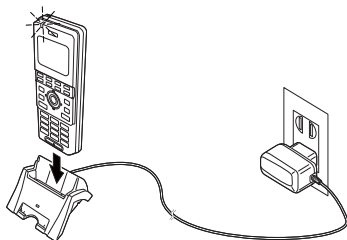
- 1 ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と充電器に差し込みます。



- 2 電話機の向きに注意して充電器に差し込みます。


電話機が充電器に正しく設置されると、電話機の充電ランプが赤色に点灯し「」が点滅します。

はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



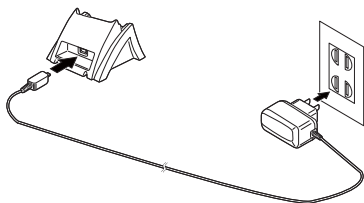
充電時間の目安

約180分

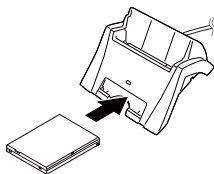
充電が完了すると充電ランプが消灯し、「」の点滅が止まります。

## 電池パックを充電する

- 1** ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と充電器に差し込みます。



- 2** バッテリーの向きに注意して充電器に差し込みます。  
はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



充電時間の目安

約180分



- 充電中は、充電器や電話機があたためかかりますが、故障ではありません。
- 電話機や充電器がぬれているときは、乾いた布で水分をふき取ってから充電してください。
- 電話機は、USBケーブルを使用して充電することもできます。
- 電話機と電池パックを同時に充電する場合、電池パックの充電が優先されます。



- 充電開始後約7時間を経過しても充電完了せず、着信/充電ランプが点滅するときは、電話機を充電器に差し込み直してください。また、電池が古くなった場合も点滅します。この場合は、電池パックを交換してください。新しい電池パックでこの状態になるときは販売店へご相談ください。
- 充電器に金属を入れないでください。
- 5~35℃の状態で使用してください。
- 本電話機専用の電池パックと充電器を使用してください。








## ◆ 電源を入れる

### 1 ボタンを2秒以上押します。

日付・時刻と電池残量が常時表示されます。(待受画面)

充電するときは、待受画面になったことを確認してから充電してください。



- ※ お買い上げ時は日付・時刻は設定されていませんので「時計機能」を設定してください。(→P41)
- ※  または  マークが表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所(圏外)にいます。  
 または  マークが消え、「」マークが表示される場所(圏内)まで移動してください。(OSシングルモードの場合は  が表示されます。)
- ※ 電波が強く「」マークが表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れる場合があります。

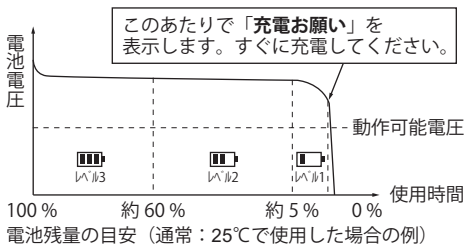
電源を切るときは、再度  ボタンを2秒以上押します。




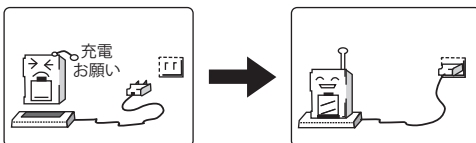
- 着信拒否など PBX 側の機能でアイコン表示がされている場合、着信、発信をし  
ない限りアイコンは表示されません。

## ◆ 電池残量を確認する

電池残量は、常にディスプレイで確認できます。  
ご使用になる前に、電池残量を確認してください。



電池残量がなくなると、電池切れアラームが10秒ほど鳴り以下の画面が表示されます。電池切れアラームを止めるには  を押します。



通話中の場合はこの画面とともに「ピッピッピッ」という警告音が鳴ります。約20秒後に通話が切れますので、すみやかにお話しを終えて、充電してください。

電池切れアラームが鳴った後は約1分で電源が切れ、充電するまで使用できなくなります。

## ◆ 自局番号を確認する

お客様の電話番号を確認できます。事業所コードレスシステムモードやトランシーバモードでお使いの場合は、それぞれの番号を確認できます。

1

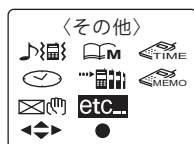
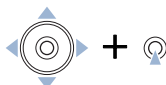
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



2

<その他>を選択します。



3

<自局番号表示>を選択します。



4 番号を確認します。

機能キーの上下を押して順番に番号を確認します。



1 基本  
操作編

準備

5 ボタンを押します。

待受画面に戻ります。







## ◆ 発信時に自局番号を通知する

PHSサービスを利用して自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。

1

[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



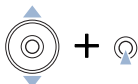
2

<その他>を選択します。



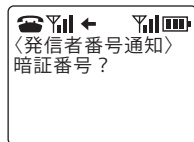
3

<発信者番号通知>を選択します。

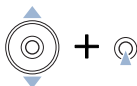


## 4 暗証番号を入力します。

ダイヤルボタンで入力します。



## 5 「ON」または「OFF」を選択します。



## 6 ボタンを押します。

待受画面に戻ります。



- 暗証番号は、ご購入時は「0000」になっています。＜暗証番号変更＞で変更してください。(→P112)
- 電話をかけるときに番号を付加することでも自局番号通知を切り替えられます。電話番号の前に「186」を付けると通知に、「184」を付けると非通知になります。番号付加機能は、相手の電話番号を表示した状態で機能キーの中央を押すことでも指定できます。「184付加設定」と「186付加設定」はPHSサービスを利用して電話をかける時のみ有効です。

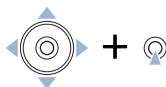


## ◆ 時計を設定する

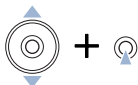
- 1 [メニュー]を選択します。  
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2 <時計>を選択します。



- 3 <日付時刻設定>を選択します。



- 4 日付を入力します。

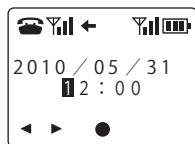
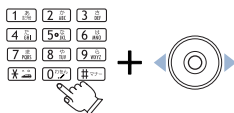
ダイヤルボタンで入力します。機能キーの左右を押すとカーソルを移動できます。



カーソル




**5** 時刻を入力します。  
日付と同様にダイヤルボタンで入力します。



**6** 機能キーの中央を押します。



設定が完了します。  
設定完了時に、0秒から時計が動作します。

**7**  ボタンを押します。  
待受画面に戻り、設定した日付時刻が表示されます。



- 本電話機は内部にバックアップ電池を装備しております。設定した時刻は内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換する場合でも保持されますが、3日間以上電池パックをはずしているとリセットされることがあります。本電話機を充電してから、再度日付・時刻の設定を行ってください。また、お買い上げ後、はじめてお使いになるときは、本電話機に電池パックを取り付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 日付・時刻の設定を行わないと、「スケジュール機能」(→ P122)がご利用できませんので、ご注意ください。
- 日付の有効範囲は2010年1月1日～2099年12月31日です。2099年12月31日23:59以降は時計が進みません。
- 時計の精度は、1ヶ月に±60秒程度の誤差があります。(25°C常温の場合)